

会員の皆さん、おめでとうございます!

令和2年 春の叙勲 受章

【旭日双光章・産業振興功労】伊藤 勝之 様（㈱ヤングアート 代表取締役）

【旭日双光章・金融業功労】桑田 純一郎 様（但陽信用金庫 理事長）



桑田 純一郎さん「よろこびの一言」

今回の受章は大変ありがたく嬉しく思っています。

28歳の頃に生野から加古川に本店を移転する大役を任されて、何の縁もゆかりもない地でどのように認知を得ていくのか、当時の会頭、瀧川松男氏の指導を得、どのようにして加古川の人間になりきるのか戦略をたて、時代の変化にも対応していき、徐々に信頼を得ていくことができました。人生で一番大変な経験であり、一番充実した日々を過ごしました。加古川の発展と共に成長させていただき、今の私があると思います。

阪神淡路大震災が起こったその日から、何かできることはないか、市民の方の助けになれないかという気持ちで設立した「但陽ボランティアセンター」は様々な活動を行い、現在6台の福祉車両を保有し、高齢の方や、車いすの方の病院への送迎やお出かけの手助けをしています。我々も生活に欠かせないエッセンシャルワーカー*でありたい、あるべきだという思いが強く、今後も但陽信金の重要な活動として続けていきたいですね。この活動を通して、職員の思いやりの気持ちが育つんです。職員が「してあげる」のではなく「させていただく」ということですね。街で困っている人に声をかけたくなり、そして頼りにしていただけるようになるというサイクルができあがります。

今回のコロナで不安な気持ちになっている一人暮らしの方も多いと思いますが、電話で近況をお伺いするだけで不安も軽くなります。金融業務には関係ないようですが、我々のかかっている「よろず相談信用金庫」として重要なことだと思っています。

今回の受章を新たなスタートとし、ますます地域・社会のためになるよう力を注いでいきたいと思えます。

*Essential Worker（エッセンシャルワーカー）・・・生活を維持する上で欠かせない仕事に従事している人々